

淀橋広子の 広報講座



伝える広報から伝わる広報へ！
消防が行う広報について、部署を問わず
皆さんに知っておいてほしいことを
広報係長 淀橋広子が
レクチャーします。

淀橋広子>>> 前職は広報プランナー。人を助ける仕事に就きたいと消防の世界へ入った。
前職で培った経験を活かし、時代の変化に沿った効果的な情報発信のノウハウを
伝授したいと意気込む。

今回のテーマ
第3回
ウェブアクセシビリティ
配慮がいたらない
ポイント 編

1 ウェブアクセシビリティについて

前回の講座では、ウェブアクセシビリティの必要性について説明しましたね。今回は、ホームページを作成するにあたり、よくある配慮がいたらないポイントについてお伝えします。すべての利用者が等しく情報へアクセスできるよう、配慮の行き届いたホームページを作成しましょう。

2 よくある配慮がいたらないポイント

日時の表記

曜日は、「(○曜日)」のようにし、時間は、ちょうどの場合には、「00分」を書かない。
「(火)」と記載すると、読み上げ機能を使用した場合、「ひ」と読み上げられる場合があります。

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1月1日(火)13時00分～15時30分
1/1 13:00～15:00 | <input type="checkbox"/> 1月1日(火曜日)13時～15時30分 |
|---|--|

連絡先の表記

アルファベットのみで省略された記載にしない。
「TEL」とした場合、読み上げ機能を使用すると、「ティーイーエル」と読み上げられます。

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> TEL、FAX、E-MAIL | <input type="checkbox"/> 電話、ファックス、Eメール |
|--|--|

単語の表記

1つの単語内にスペースをいれない。
文書内で体裁を整えるために、文字の間にスペースを入れることもあるのではないのでしょうか。
例えば、「目 次」とした場合、読み上げ機能使用時、「め つぎ」と読み上げられます。
また、ひとつの単語として認識されず、検索した際に上位にあがってこない場合もあります。

- | | |
|---|-----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 目 次 | <input type="checkbox"/> 目次 |
|---|-----------------------------|

箇条書きの作成方法

箇条書きする場合は、HP作成システム上の機能を使用
ブラウザや検索エンジンなどのプログラムがページ内容を適切に把握し、
利用者にわかりやすく伝えられるようになります。

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 「・」や「1.」をキーボードで入力、
または「てん」で変換し「・」を選択 | <input type="checkbox"/> システム上の箇条書き機能
(黒丸・白丸・数字など)を使用 |
|---|--|



前回に続き、今回もウェブアクセシビリティについての関連内容、「よくある配慮がいたらないポイント」についてお伝えしました。
みんなで配慮の行き届いた、「伝わる広報」を目指しましょう！次回もお楽しみに☆



落語 DE 火の用心

今回のお話し『いもりの黒焼き』



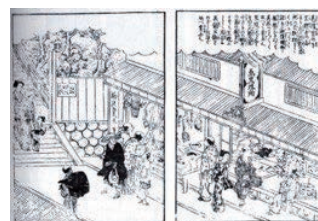
えー、皆さま、今月も真っ先にお読み
いただき、ありがたく御礼申しあげます。
「そなえ亭三葉」でございます。
今回ご紹介するのは「いもりの黒焼き」というお話しです。
なんや気色の悪いタイトルですが、少し調べてみますと、
「黒焼き」とは文字どおり、動植物や木の実を黒くなるま
で蒸し焼きにしたものを粉状にしたもので、頭痛や腹痛
をはじめとする体調不良の薬として用いられていたそう
です。江戸時代、大坂でも黒焼き屋が繁盛したそうですよ。



6月号で紹介しました「延陽伯」というお話しにも登場した「高津宮・高津神社（こうづぐう・こうづじんじや）」。古くから大阪の文化の中心として賑わってきた高津宮の西坂を下りたところに、戦前まで大阪名物の黒焼き屋が二軒あり、惚れ薬の「いもりの黒焼き」の他にも「願かけのへび」などの奇妙な薬を売っていたそうです。実は、わたくし「いもりの黒焼き」の歯磨き粉っていうものを以前に見たことがあります。が、こうした黒焼きは江戸時代よりもずっと前から使われていて、中には今日まで民間療法として伝えられているものもあるんですって、びっくりですね。

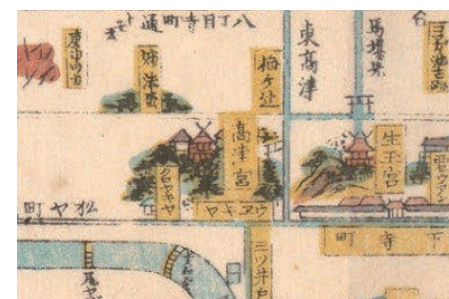
*江戸時代天保年間に発行された古地図「浪華名所獨案内」をご覧くださいの方は Stroly の公開地図が便利です。

https://viewer.stroly.com/_OP_Rumsey5502Osaka1830_jhm000538a/?room=stroly



☆高津宮の下、黒焼き屋の店（摂津名所図会）

- *例
・風邪「みかんの黒焼き」
・咳止め「かぼちゃのへたの黒焼き」
・下痢「梅干しの黒焼き」
・ぜんそく「昆布の黒焼き」
・利尿作用「大根の黒焼き」 など



プチ上方言葉講座

「せんど」

【意味】
千回（転じて回数の多いこと）
たびたび・さんざん など

【使用例】
「せやから、あんな男に惚れたらあか
んて、せんど言うたのに。」



それでは、今月の消防落語は、高齢の祖母とのやり取りに、ほっこり温かい気持ちにさせられる、そなえ亭三葉による「おばあちゃんへのプレゼント」です。令和6年11月に「OBC ラジオまつり ふれあい広場」に出演した際の高座をアップしていますので、是非、ご覧ください。



大阪市消防局
公式 YouTube

現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中でも**救急隊員が活動する災害現場で知識として身につけておくべき**内容を紹介していきます。今月は分娩に関する問題です。妊婦の観察と処置について理解するとともに、差し迫った状況では車内分娩の可能性も考慮した活動が必要であることを認識しましょう。では、緊急の対応が必要な状況をイメージしつつ、早速解いてみましょう！

第45回（令和4年3月）D問題

34歳の女性。妊娠38週。自宅で陣痛が急に強くなったため本人が救急要請した。
救急隊到着時、女性は居間で仰臥位で寝ており、両大腿の間の床に少量の血液がたまっているのが観察された。両下肢を開いた時の状況を写真に示す。児の顔面を清拭し、ガーゼで鼻腔および口腔内の羊水を可及的に除いた。
次に行うべき対応はどれか。1つ選べ。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 この状態のまま救急搬送する。 | 4 児の右肩を母体外に娩出させる。 |
| 2 児頭を母体の腔内に押し戻す。 | 5 児の左肩を母体外に娩出させる。 |
| 3 児頭を回して顔を下に向ける。 | |

ヒントレベル 分娩助助の目的

- 墜落分娩の防止
- 児頭コントロールによる会陰保護
- 分娩後の子宮出血の防止
- 新生児の保温、蘇生

ヒントレベル 正常分娩の3段階

- 分娩第1期 → 陣痛開始から子宮口全開大まで（初産婦：10～12時間・経産婦：4～5時間）
- 分娩第2期 → 子宮用全開大から児娩出まで（初産婦：2～3時間・経産婦：1～1時間半程度）
およそ陣痛開始から初産婦では約半日、経産婦では初産婦の半分の時間で児娩出に至る。
分娩助助と臍帯巻絡による臍帯処置、吸引等を実施する。
- 分娩第3期 → 児娩出から胎盤娩出まで（初産婦：15～30分・経産婦：10～20分）
子宮内反による大量出血をきたし、ショックを起こすことがある。

ヒントレベル こころポイント

- 妊娠末期の妊婦を搬送する際は、下大静脈の圧迫による仰臥位低血圧症候群を防止するため、左側臥位、または枕や毛布などを使用して右側を高くするように傾けた体位とする。

解答・解説

解答 4 児の右肩を母体外に娩出させる。

正常分娩では、児頭は下向き（母体の背側側を向いて）で出てくる。次に、**顔まで完全に出てくると児頭は右または左向きに回転するので、児頭を下方に誘導すると上側の方が娩出する。**【←救急隊員として知っておくべきポイント】

第2期（娩出期）でありすでに児頭が娩出しており、このまま救急搬送するのは困難なため、児娩出に向けて分娩助助を行う。児頭を母体内に押し戻すのも、顔を下に向けるのも不適切である。

（参考・引用 株式会社へるす出版「第45回 救急救命士国家試験問題 解答・解説集」）

株式会社 銭高組

株式会社銭高組は業祖銭高林右衛門氏が1705年に泉州尾崎村で創業し、1887年に屋号を「銭高組」に改め、今年創業320周年を迎えられました。「信用第一、堅実経営、積極的精神、和親協同」を社是に掲げ、大阪では、古くは大阪市庁舎や水晶橋、最近では大阪中之島美術館、なにわ筋新線等を手掛けておられます。海外事業ではベトナムを中心とする東南アジアのほか、ウガンダをはじめとするアフリカにも実績があり、総合建設業として国内外に幅広い実績を持っておられます。また、東日本大震災直



後の災害復興についても土木・建築両面で積極的に関与し、西自衛消防協議会には昭和35年1月に加入されました。積極的な各種行事の参加に加え、近年も継続して、消火技術の確実性、迅速性を競う、西自衛消防技術練成会にも参加いただいております。

自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長 太田 裕士

弊社では定期的に防災訓練等を行い、災害時における従業員各々の役割を確認し、防災意識の向上に努めております。今後も地域の皆様と連携し、自助のみならず共助にも貢献できるよう取り組んでまいります。



女性防火クラブだより

大正区

大正区女性防火クラブは、平成2年11月9日に「シルバードレスシステム」として発足。現在は大正区地域振興会女性部の方々が中心となり、谷田委員長以下985名のクラブ員で組織し活動しています。昨年度は、9月の高齢者セーフティネット強化月間や12月の歳末警戒期間中に高齢者宅への防火訪問を実施し、火災の危険性や住宅事故防止について啓発することができました。また2月には日本気象予報士会関西支部から講師を迎え、「気象災害から身を守るには！」「防災気象情報の活用」



と題した研修会を大正消防署で行い、クラブ員の防火・防災に関する知識を更に向上することができました。今年度も、大正区女性防火クラブ員が一丸となって防火・防災への取り組みを推進することで、地域の安全・安心なまちづくりに貢献していきます。

国立大学文学部卒で大阪市内の某消防署に勤務する、漢字を愛してやまない消防女子「淀橋文子」が防火防災に関する「漢字」の意味や成り立ちを解説する「消防漢字ガール」。さて、今月の漢字は…。

【緊】

意味：かたい。きつくしめる。かたくしめる。ひきしめる。ちぢむ。さしせまる。きびしい。

消防漢字ガール

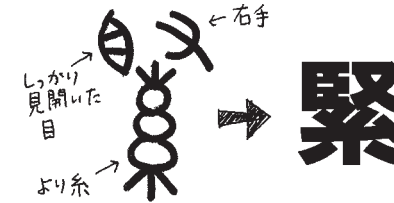
Fire Fighter Kanji Girl

今月の漢字は消防の「緊」です。

さて、まずは成り立ちを見てみると、「家来」の意味を持たせた「しっかりと見開いた目」の象形と、「神のしもべとする人の瞳を傷つけて視力を失わせ体が固くなる」という意味（長っ。）を持つ「右手の象形」の「𠂇」に、「より糸」の象形の「糸」を合わせることで「しっかりと締める」という意味を持つ漢字になりました。おなじみの会意兼形声文字ですね。

音読みは「キン」、訓読みは常用漢字表外で「かた(い)」、「きび(しい)」、「し(める)」のほか、「ちぢ(む)」とも読みます。画数は「15画」部首は「糸(いとへん)」です。

※訓読み⇒()の中は「送りがな」



ということで、今月は緊急時にご活用いただけるアプリ「小児救急支援アプリ」をご紹介します。「小児救急支援アプリ」は、15歳未満のお子様を対象にしたスマートフォン専用アプリで、突然の病気やケガの緊急度の判断、病院情報の検索をお手伝いするアプリです。

医療機関を受診される場合は、近くの大阪府内の医療機関が表示され、ワンタッチで電話をかけることができ、地図も表示されます。「救急安心センターおおさか（#7119）」や119番などにもワンタッチで電話をかけることができますよ。是非、使ってみてください。

では、今月はこれでおしまい。じゃあねー。

【今月の警防担当司令の迷言】

「淀橋とか畑中とかの年代はZ世代で言うんやろ？もうすぐ定年のワシとかはS世代くらいにいいのか？」
(司令、そういうことではないんです。)

表彰

救急活動(賞与)

住吉消防署

2部 住吉第1救急隊

消防司令補 増田 龍一
消防士長 宮井 達也
消防士 満倉 康太

傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

住吉消防署

2部 住吉第2救急隊

消防司令補 釜永 将行
消防士長 横田 直記
消防士 辻野 耕一

令和7年3月19日、住吉区の福祉施設で発生した救急事案において、現場到着後、傷病者がCPAであること及び喉詰りによるCPAの可能性があることを確認した。直ちに自動体外式除細動器を装着し、CPRを実施するとともに、マギール鉗子及び吸引器を用いて異物除去を実施した。

また、食道閉鎖式エアウェイによる気道確保及び静脈路確保を実施したところ、傷病者に自己心拍が出現した。その後、人工呼吸を継続し、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努めた。これら一連の活動により、

救急活動(賞与)

浪速消防署

1部 恵美須小型タンク小队

消防司令 井上 将行
消防司令補 富永 英一
消防士長 上田 大地
消防士 玉田 実大

たところ、搬送中の車内で傷病者に自発呼吸が出現した。その後も引き続き傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継いだ。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

令和7年5月3日、浪速区の遊技場で発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がCPAであることを確認したため、直ちにCPRを開始するとともに、自動体外式除細動器を装着し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、CPRを継続した。救急隊到着後も協力してCPRを継続し、計3回の除細動を実施したところ、救急車内において

緊急性の判断から病院情報の案内まで

小児救急支援アプリ



iPhone、iPad (iOS端末) をご利用の方はこちら



Android端末をご利用の方はこちら

救急活動(賞与)

淀川消防署	
2部	東三国救急隊
消防司令補	坂本 達也
消防士長	小森 淳司
消防士	折田 隼弥

令和7年5月28日、淀川区の神社で発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がC P Aであることを確認したため、直ちに自動体外式除細動器を装着しC P Rを開始した。C P Rを実施していたところ、口腔内に異物を確認したため、マガール鉗子及び吸引器を用いて異物を除去した。

また、食道閉鎖式エアウェイによる気道確保及び静脈路確保を実施し、薬剤を投与したところ、傷病者に自己心拍が出現した。その後は、人工呼吸を継続し、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継いだ。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

非番日等における救急活動(賞与)

此花消防署	
2部	救助担当司令兼警防部 警防課担当係長(特別救助)
消防司令	千田 周一郎

令和7年6月22日、阪南市において私用車を運転していたところ、原動機付自転車に乗っていた男性が自己転倒するところを目撃したため、直ちに車を安全な場所に停車させ、傷病者の観察を実施した。観察の結果、傷病者がC P Aであることを確認したため、付近にいた人々に対し、119番通報、自動体外式除細動器の搬送及び交通整理を依頼して、胸骨圧迫を実施し続けたところ、傷病者は、自己心拍が再開し、意識も回復した。その後、到着した救急隊に状況を正確に伝え、円滑に傷病者を引き継いだ功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

淀川消防署	
2部	淀川小型タンク小隊
消防司令	井村 勇一
消防士長	石黒 雅幾
消防士長	山下 裕司
消防士	村田 竜成

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着後、指定方面であった火元建物西側において放水体制を確立し、激しく火炎が噴出する火元建物の2階と火元南側建物の間に延焼阻止の放水を実施した。その後、延焼が始まっていた火元南東側建物に屋内進入し、消火活動を実施した。また、火元南東側建物に三連はしごが架梯されてからは、梯上放水により火元建物東側への延焼阻止を実施し、最終的には、火元南東側建物の2階へ転進し、天井の破壊作業を実施しながら延焼状況の確認を行い、筒先警戒にあたった。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

北消防署	
2部	北小型タンク小隊
消防司令	藤本 英司
消防司令補	原田 裕
消防士長	和田 裕陽
消防士	友川 竜聖

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着時、火元建物に隣接する火元南東側建物に既に爆発音を伴い黒煙を噴出しながら延焼していたため、さらにその東側建物を延焼阻止線とし、当該建物に屋内進入し、濃煙と熱気が充満する2階において天井及び側壁を破壊しながら延焼阻止の放水を実施した。また、その後は、進入した建物の北側に隣接する建物に対し、放水を実施し、延焼を阻止した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

北消防署	
2部	梅田救助隊
消防司令補	吉野 恭平
消防士長	山本 健
消防士長	古橋 拓馬
消防士	楠田 博哉

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着時、火元建物から北側及び南側の建物に延焼中であることを確認した。火元建物の2軒北側の建物の軒下から白煙が噴出してゐる状況であったため、当該建物に屋内進入し、濃煙と熱気が充満する2階において天井及び側壁を破壊しながら延焼阻止の放水を実施した。その後、燃焼状況から1口放水で延焼阻止することは困難と判断し、2口放水に切り替え、延焼阻止を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

北消防署	
2部	本庄小型タンク小隊
消防司令補	源常 涼太
消防司令補	濱野 百年
消防士長	中島 徹
消防士長	延山 大輔

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着時、火勢は最盛期を迎えており、火元建物から東側建物に延焼中であることを確認した。火元建物の2軒東側の建物を延焼阻止線とし、当該建物に屋内進入し、2階において天井及び側壁を破壊しながら延焼阻止の放水を実施した。間もなく室内は濃煙熱気状態となったが、放水を継続して、延焼を阻止した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

非番日等における火災現場での活動(賞与)

西消防署	
2部	出張所担当司令(江戸堀)
消防司令	林 誠久

令和7年7月8日、奈良県御所市の飲食店において飲食していたところ、厨房ダクト内を通じて客席に煙が流入してきたことから、火災が発生していると判断した。協力者に消火器の搬送及び119番通報を依頼するとともに、一般客及び従業員を速やかに避難誘導し、パニック状態になる人もいる中、店内にいた全ての人を安全に避難させた。その後、消火器による消火を試みたが、既に店内に煙が充満していたため、消火作業は断念し、到着した消防隊への確に情報提供を行い、円滑に引き継いだ。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑えた功績による。

非番日等における火災現場での活動(賞与)

東成消防署	
1部	警防担当
消防士	吉山 勝登

令和7年7月13日、交野市において、飲食店から煙が噴出していることを確認したため駆け付けたところ、外壁に設置されていた室外機が燃焼していたため、従業員から状況を聴取し、通行人に119番通報を依頼するとともに、消火器を用いて室外機の消火作業を実施した。その後、店内に至り、従業員とともに消火器を用いて厨房内の消火作業及びダクト内の消火作業を実施したことにより、消防隊到着前に消火に成功した。消防隊到着後は的確に情報提供を行い、円滑に引き継いだ。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑えた功績による。

火災現場における救助活動
〔賞与〕

西淀川消防署	
1部	西淀川救助隊
消防司令補	神吉 謙也
消防司令補	柏木 翔也
消防士長	坂口 啓太
消防士	河崎敬太郎

令和7年7月14日、淀川区の共同住宅で発生した火災現場において、出場中に、警防本部からの無線情報により、ベランダに要救助者がいることを聴取したため、優先検索箇所をベランダとする救助活動方針を決定した。6階の出火室前に至り、確保ロープを設定し、消火隊の援護注水体制確立後、濃煙熱気の充満する出火室に進入した。熱画像直視装置を活用して、熱気状況を確認しながらベランダに至ると、要救助者を発見したため、レスクマスクを装着し、介添えて要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

火災現場における救助活動
〔賞与〕

西淀川消防署	
1部	西淀川小型タンク小隊
消防司令補	山谷 勇樹
消防士長	増田 稜
消防副士長	岩雲 修
消防士	林 竜也

令和7年7月14日、淀川区の共同住宅で発生した火災現場において、出場中に、警防本部からの無線情報により、ベランダに要救助者がいることを聴取するなど、緊迫した状況下において、ホース吊り下げ延長を実施し、6階の出火室前において、迅速に放水体制を確立した。救助隊への援護注水体制を確立後、濃煙熱気の充満する出火室に進入し、急激な燃焼に備えた警戒筒先で救助隊の検索活動に協力したところ、ベランダにおいて、要救助者を発見したため、救助隊と協力して、要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

火災防ぎよ活動〔賞与〕

北消防署	
1部	梅田救助隊
消防司令補	堀川 誠二
消防士長	鬼塚 琢也
消防士長	吉岡 慎志
消防士	奥 達哉

令和7年7月14日、都島区の住宅で発生した火災現場において、現場到着後、火元建物から北側への延焼危険が高いと判断し、火元北側建物内部への筒先配備を決定した。濃煙が充満する火元北側建物の2階に至り、天井及び側壁を破壊しながら燃焼状況を確認するとともに、隊員1名が地上から折りたたみはしごを架梯し、緊急時の退路を確保した。その後、天井裏において延焼していた部分に放水を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動〔賞与〕

都島消防署	
1部	東野田小型タンク小隊
消防司令補	柳瀬 友彦
消防司令補	植野 靖司
消防士長	多賀井悠介
消防士	西岡 航

令和7年7月14日、都島区の住宅で発生した火災現場において、現場到着後、火元建物から北側への延焼危険が高いと判断し、火元北側建物内部への筒先配備を決定した。他隊と活動方針の調整を行った後、濃煙が充満する火元北側建物の3階に至り、天井を破壊しながら燃焼状況を確認した。その後、天井裏において延焼していた部分に放水を実施するとともに、3階部分の検索を行った。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動〔賞与〕

城東消防署	
1部	放出小型タンク小隊
消防司令	阪口 宏樹
消防司令補	古賀 稔明
消防士長	善野 利規
消防士	原 忼成

令和7年7月14日、都島区の住宅で発生した火災現場において、現場到着後、火元建物から北側への延焼危険が高いと判断し、火元北側建物内部への筒先配備を決定した。濃煙熱気が充満する火元北側建物の2階に至り、東側居室において燃焼していた部分に放水を実施し、制圧した。その後は、天井を破壊しながら燃焼状況を確認し、天井裏において延焼していた部分に放水を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災現場における救助活動
〔賞与〕

城東消防署	
1部	城東特別救助隊
消防司令補	前田 勇樹
消防士長	新谷 希哉
消防士長	久原 光竣
消防士	谷浦 雄大

令和7年7月18日、城東区の共同住宅で発生した火災現場において、白煙が漂う2階の出火室前に至ると、出火室の玄関扉が施錠されていたため、エンジンカッターで扉を切断し開放するとともに確保ロープを設定した。消火隊の援護注水体制確立後、濃煙熱気の充満する出火室に消火隊とともに進入した。消火隊と連携しながら検索を実施したところ、室内において倒れている要救助者を発見したため、レスクマスクを装着し、要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

火災現場における救助活動
〔賞与〕

城東消防署	
1部	放出小型タンク小隊
消防司令補	古賀 稔明
消防士長	善野 利規
消防士長	藤崎 正人
消防士	山口 遼

令和7年7月18日、城東区の共同住宅で発生した火災現場において、現場到着後、直ちにホース延長を実施し、2階の出火室前で放水体制を確立した。出火室の隣室を通じて、出火室ベランダ側から出火室を確認後、救助隊とともに濃煙熱気の充満する出火室に玄関扉から進入した。救助隊と連携しながら検索を実施したところ、室内において倒れている要救助者を発見したため、救助隊と協力し、要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

（令和7年9月8日付け）

局是記章 強実章

第53回全国消防救助技術大会	
はしご登はん	第1位 陸上の部
西消防署	1部 警防担当
消防士長	香川 大也
第53回全国消防救助技術大会	
基本泳法	第1位 水上の部
東住吉消防署	2部 警防担当
消防士長	高瀬 渉

（令和7年9月17日付け）

※所属・階級は表彰日現在のものです。

救急安心センターおおさか だより

紅葉狩りの後は急な腰痛や転倒にご注意！



11月になり、紅葉を見に山歩きや散策に出かける方も多いのではないのでしょうか。

自然は心を癒してくれますが、普段あまり歩かない方や、長い距離を歩き慣れていない方にとっては負担も多く、思わぬケガや身体のトラブルが起きることがあります。

慣れない山道や少しの段差、長時間の歩行は、腰や膝、足首などに負担がかかります。疲れがたまると、思わぬところでつまずいたり、滑って転倒してしまうことがあります。また「いつの間にか腰が痛い…」や「急に足がつった!」、そんな声も、この時期よく耳にします。



紅葉狩りを安全に楽しむポイント

- ・お出かけ前には、アキレス腱伸ばしや軽いストレッチをして、身体をほぐしておきましょう。
- ・歩きやすい靴、滑りにくい靴を選ぶのも大切です。服装も動きやすさを重視しましょう。
- ・疲れたな、と思ったら無理せず休憩を。水分もしっかり取りましょう。

この秋も、みなさんに安全で楽しい時間が訪れますように。体調に気をつけて、秋の美しい景色を味わいましょう！

大阪府内でのレジャーや山歩きの際に「救急車を呼んだほうがいい?」「今すぐ病院に行ったほうがいい?」「近くの救急病院はどこ?」「応急手当の方法は?」など、突然の病気やケガで悩んだときは、救急安心センターおおさかをご利用ください。また緊急度の判定は、総務省消防庁の全国版救急受診アプリ(Q助)でも判定することができ、近くの病院・診療所をお探しの場合は、厚生労働省の医療情報ネット(ナビイ)でも検索できますので合わせてご活用ください。



全国版救急受診アプリ
総務省消防庁

緊急度判定



医療情報ネット
厚生労働省

病院案内

救急安心センター着信件数(令和7年9月)

令和7年9月の着信件数 (1日あたりの件数)	27,686件 (約923件)
対前年同月比	494件増加

編集後記



Facebook



X
(旧:Twitter)



Instagram



YouTube

SNSやってます

表紙のウラ側



令和7年9月26日(金)に、
大阪府立消防学校にて第118回
初任教育の実科査閲と修業式が
行われました！

その様子は来月号で紹介します。

朝、出勤しようとマンションの階段を下りたら、エントランス内が真っ黒になっていたことがありました。なんと、置いてあった共同のごみ箱に放火されていた!と後から聞いて、ビックリするやらゾッとするやら……。階段は一つだけ、土地勘がなければ車でアクセスするのも困難なエリアにあるわが家。しかも、その周辺は、某消防雑誌に取り上げられたこともある住宅密集地。入居を決めた当時は、もしもの時のことを想像してみる発想もなかった私ですが、3階の窓から隣家の屋根に飛び降りる勇気もなく、にわか引越しを考え始めている今日この頃です。(H)